

春

幸せの黄色い声明文 ～ 黒髪地区より皆様へ～



黒髪地区に「黄色い声明文」、「立看板」現る!!

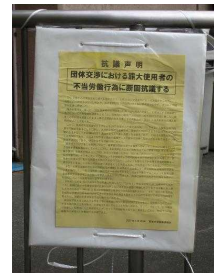
4月2日に黒髪地区赤門前と事務局門前に立看板が現れました。更に先日皆様にもお配りした「団体交渉における熊大使用者の不当労働行為に断固抗議する」っちゅう声明文までも、黒髪地区一帯に貼り出しました。

ほんとこれがいいのさ。まずは立看板なんだけど、委員長直筆のイラスト。以前、委員長が出した休題閑話に付いていた「人事院監獄(人事院勧告)、独房化(独法化)」なんだけど、ほんと世の中の人に見てもらいたい機会だよ。実際に独法化して自由度が増したようないい方はされるけど、これまでの交渉の中で使用者が言われるのは「国家公務員の給与水準を十分考慮する必要がある…」だって。結局は人事院に縛られてるんだよね。このやるせない気持ちがああイラストからひしひしと伝わってくるのは何でだろうね。それにさ、人事院に縛られているのは一般教職員で、役員は大学独自で決めた優遇規則。この矛盾をやっぱ知ってもらいたいね。やっぱ、熊大職員の給与水準をある程度上げないと「人勧考慮」も考え直さないといけないんじゃないの??



それともうひとつが「声明文」。黒髪地区のいくつかの樹木等に掲示してるんだけど、それが「黄色いチラシ」なのさ。# この号はそれにちなんで黄色で印刷したのよ。

全く殺風景だったキャンパスに「黄色い声明文」があることで、ところどころにアクセントが出来て、なんだか明るい感じになったような気がするよ。貼ってる最中にも在学生や、これから入学しようとしている学生さんが親を連れて来てるんだけど、立ち止まって見るのさ「黄色い声明文」を…。



昨年も立看板したけど、やっぱ人は見てしまうね。やっぱ気になっちゃうんだろうね。

組合としては教職員だけでなく、熊本で生活している人や学生にも理解してもらいたいんで、この情宣は非常に有効なのね。ほんともくろみ通り。立看板つけてるときも赤門前でちょうどバスが信号待ちで止まるのさ。そのときに熱い視線を感じるんだけど、そこで振り返ると、バスに乗ってるほとんどの人が、立看板を見ているのよ。いやぁ、震えがくるね。

その写真がないのは残念だけど…。

これから一ヶ月張り出されているので、何かありましたら気をつけて見てみてください。

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.16 2007/04/03